



ケイトウ

# ワイズ経営ニュース

編集発行人

ワイズコンサルティング  
株式会社

〒104-0061  
東京都中央区銀座1-8-21  
中央ビル5F

TEL 03 (3567) 3072  
FAX 03 (3567) 3075

## 9月の税務と労務

- 国 税 / 8月分源泉所得税の納付 9月10日
- 国 税 / 7月決算法人の確定申告(法人税・消費税等) 9月30日
- 国 税 / 1月決算法人の中間申告 9月30日
- 国 税 / 10月、1月、4月決算法人の消費税等の中間申告 (年3回の場合) 9月30日



9月

(長月) September

15日・敬老の日 23日・秋分の日

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
| ・  | 1  | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  |
| 7  | 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 13 |
| 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
| 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 |
| 28 | 29 | 30 | ・  | ・  | ・  | ・  |

### メタボ健診の診療費も医療費控除の対象に

本年4月から、40～74歳を対象に特定健康診査（メタボ健診）が実施されていますが、診査結果に基づき行われる特定保健指導を受ける人のうち、高血圧症、脂質異常症、糖尿病のいずれかの基準に該当する人が、その診療等のため自己負担した診療（治療）費は、医療費控除の対象に追加されています。

ワン  
ポイント

# 新会社法

## 活用の いろいろ

### 1 会社の借入金を 資本金に振り替えるDES

新たに施行された会社法により、DES（デット・エクイティ・スワップ）の手続きが簡略化されました。

DESとは、債務の株式化を図る手法のことです。中小オーナー企業の場合、オーナー社長が会社に対して貸付（会社から見ると借入）を行っているケースが多く見られます。DESは、この借入金（債務）を資本金に振り替える（負債と資本の交換）手法です。

負債が減少し、資本が増加することになるわけですから、自己資本比率は高くなります。これによって、資本構成が是正され、金融機関の評価も向上し、資金調達

円滑化が期待できます。

しかし、資本構成は是正しやすくなりましたが、株式価値の向上による贈与税の発生などに留意する必要があります。

「DESは現物出資」

DESは、貸付金という債権（財産）を現物出資し、新株を発行するという増資の手続きと考えることができます。DESの手法は、従来からありましたが、検査役の調査など手続きが煩雑であり、あまり利用されていませんでした。しかし、新会社法により、これが容易となりました。

株式会社は、「現物出資財産」（金銭以外の財産の出資）の価額を調査させるため、裁判所に対し、検査役選任の申立てをしなければなりません。

ただし、現物出資財産の価額が相当であることについて弁護士や税理士等の証明（現物出資財産が不動産の場合には、その証明および不動産鑑定士の鑑定評価）を受けた場合や、すでに弁済期限が到来している債権で、債権の評価額が帳簿価額を超えない場合には、検査役の調査が不要となっています。

「法人住民税の増加も」

DESによって資本金が増加すると、住民税の均等割の増加、各種会費の増加などに留意する必要があります。また、株式の価値が向上するため、既存の株主に対して、贈与税が発生するおそれもあります。

DESは、企業再生・再建手法として使われることが期待できます。しかし、これが合理的な再建計画に基づかない場合には、出資者からの過剰支援による経済的利益の供与（寄付金認定）問題が発生することが懸念されます。

「相続対策としても」

また、DESの手法は、相続対策に活用することも可能です。同族会社の被相続人が会社に貸付を行っている場合、会社に対する貸付金は相続財産の一つとなります。会社が債務超過の状況にある場合、相続財産としての株式には価値はありませんが、貸付金に対しては相続税が発生することになります。DESを活用することによって、株式と貸付金の相続財産を圧縮することができ、相続税対策を行うことが可能となります。

### 2 種類株式の活用

株式会社は、次に掲げる事項について異なる定めをした内容の異なる二以上の種類の株式（異なる種類の株式、「種類株式」と呼びます）を発行することができます。

剰余金の配当

残余財産の分配

株主総会において議決権を行使することができる事項

譲渡による当該種類の株式の取得について当該株式会社の承認を要すること

当該種類の株式について、株主が当該株式会社に対してその取得を請求することができること

当該種類の株式について、当該株式会社が一定の事由が生じたことを条件として、これを取得することができること

当該種類の株式について、当該株式会社が株主総会の決議によって、その全部を取得すること

株主総会（取締役会設置会社にあつては株主総会または取締役会、清算人会設置会社にあつては株主総会または清算人会）において決議すべき事項のうち、

当該決議のほか、当該種類の株式の種類株主を構成員とする種類株主総会の決議があることを必要とするもの

当該種類の株式の種類株主を構成員とする種類株主総会において取締役または監査役を選任すること（ただし、委員会設置会社及び公開会社は、この株式を発行することができません）

代表的な株式について、下記に整理します。

### (1) 取得請求権付株式

株主が会社に対して、所有する株式を買い取ることを請求できる権利のある株式のことです。

### (2) 拒否権付株式

取締役の選任や解任、合併、事業譲渡など、会社の重要な決議についてこれを拒否することができる権利のある株式のことです。いわゆる「黄金株」と言われています。敵対的買収対策に活用することができます。

### (3) 取得条項付株式

会社が株主に対して、強制的に引き上げることを主張できる株式です。敵対的買収などに利用することができません。

また、これらの種類株式の活用

によって、従業員のやる気の向上を図ることが期待できます。たとえば、従業員に「配当優先株式」を付与します。従業員は、会社の業績向上に努め、配当が得られることを期待して会社のために働きます。万一、従業員が退職する場合、会社が株式を買い取るもの（取得条項付株式）としておくことができます。

一方では、従業員に株式を与えても、経営者側に経営権が維持できるように、複数議決権、あるいは議決権制限株式を利用した、種類株式を活用した制度を導入することも必要です。

## 3 利益配当の制度

会社法では、株主に対する利益配当は、「剰余金の分配」の一つです。すなわち、会社財産を株主に還元する「利益配当」、「中間配当」、「資本および準備金の減少に伴う払戻し」、「自己株式の買受」はすべて、「剰余金の分配」として整理されています。

しかし、従来と異なる方式の財源規制があります。分配可能額の範囲であれば、いつでも分配を行う

ことが可能となっています。

株式会社は、株主総会の決議によって、その株主（当該株式会社を除きます）に対し、いつでも、剰余金の配当をすることができず、剰余金の配当をしようとする場合は、その都度、株主総会の決議によって、配当財産の種類（当該株式会社の株式などを除く）及び帳簿価額の総額、株主に対する配当財産の割当てに関する事項、当該剰余金の配当がその効力を生ずる日、を決定しなければなりません。

この分配可能額の算定方法は、「最終事業年度の末日時点（決算期）における貸借対照表」を基礎に、「その後に行われた剰余金の変動要素の一部」を加減します。決算期における分配可能額は、その他の利益剰余金 + その他の資本剰余金の合計額から、下記を控除して算出されます。

自己株式の帳簿価額、のれん代の二分の一および繰延資産の額の合計額から資本金・資本準備金の額を減じて得た額、その他有価証券・土地の評価損がある場合における当該差損額、純資産額中剰余金以外の額が三〇〇万円に満たない場合は、その不足額。

つまり、資本金の金額によらず、純資産額が三〇〇万円未満の場合には、剰余金がある場合でも配当を行うことはできません。

また、最終事業年度の末日後に生じた事由のうち減算項目としては、「自己株式の取得」、「剰余金の配当」、「剰余金の資本金・準備金への計上」、加算項目としては、「資本金・準備金を減少して剰余金とした場合」があります。

配当は現物による配当が認められています。配当財産が金銭以外の財産である場合には、株式会社は、株主総会の決議によって、株主に対して金銭分配請求権（当該配当財産に代えて金銭を交付することを株式会社に対して請求する権利のこと）を与えるときは、その旨および金銭分配請求権を行使することができる期間、一定の数未満の数の株式を有する株主に対して、配当財産の割当てをしないこととするときは、その旨およびその数、を定めることができます。

以上、利益配当については、いつでもこれを行うことが可能となり、金銭によらない現物配当も可能となりました。

## 運と実力の世界

インクのおしみに人の形を見出すように、私たちは、ありとあらゆる形に意味を感じようとしています。

心理分析が流行したり、人はどうしてもなく物事を象徴することが好きなようです。ほとんどどんなことでも、私たちは「偶然」が果たす役割を過小評価しています。

ところで、科学が偶然を扱えるようになったのは、つい最近のことのようです。

確率論は数学としては新しいほうです。確率論の現実への応用という学問分野は、ずっと存在しないも同然でした。

たとえば「勇氣」というのは、自分の信じるところと心中できる気高い能力のことではなくて、むしろ物事がどれくらい偶然に左右されるかを評価してみる能力です。お金のことで「リスクをとる人」は、とらない人に比べて、妄想に陥りやすいものです。ひどい結果になる可能性を過小評価し、楽観的になり

すぎたり自身過剰になったりします。彼らが「リスクをとりに行く」のは、単に、偶然がみえていないからにすぎないことが多いのです。

運を実力と取り違える傾向がとても強い世界が一つあります。それは市場の世界です。加えて、運と実力の違いを理解するのに一番いい実験室は、経済活動の場です。人の営みの中で、誤解が一番大きくて一番致命的な影響を与えるのがこの分野なのです。

たとえば、ある戦略がうまくいくとか、ある経営者には「ビジョン」があるとか、あるいは、あのトレーダーには才能があるととか、間違った印象を持ちがちです。しかし、よく考えてみると彼らの過去のパフォーマンスの99.9%はたまたまかもしれないのに、たまたまだけでもそんなパフォーマンスはあげられると気づくことがよくあります

儲けている投資家に、なんでそんなに成功しているのですかと聞いてみればいいのです。大衆紙が取り上げる記事には、運と実力を取り違えている記事が多く存在します。

## 悠久の世界

温室効果ガスは、最も理解が進んだ気候影響因子です。しかし、他の因子を考えなくてもよいというわけではありません。人為的な要因もあれば、自然要因もありま

す。私たちの住みなれた世界を永久なものだと考えるのが、人間の本性です。

太陽、大草原、山脈、自分たちが吸っている空気さえ、それが当たりまえであり、永続的なもの

のように思ってしまうものです。しかし、悠久の時間からすれば、わずか五〇〇万年前は、酸素濃度は現在よりかなり高かったのだし、一億年前までさかのぼらないところでは、酸素濃度は現在よりもはつきりと低かったそうです。大気は時間がたつうちに著しく変化しました。そうした変化は、長期にわたる地球上の生物の進化を理解するための鍵を握っているかもしれません。

## 脳疲労とメタボリック

なぜ人は太ったりメタボになったりするのでしょうか。

食べすぎたり、運動したくない原因は、過剰なストレスからくる「脳疲労」にあると考える向きがあります。

太っている人が、本人はそのつもりがなくても、甘いものや脂っこいものを欲しがるのは、脳疲労によって、脳が太るプログラムになってしまっているからというものです。これによると動くのが億劫になり、運動不足になるのも脳疲労が原因と考えられるようです。

従来のダイエットが成功しない理由も脳疲労にあって、「食べるな」「運動しろ」と言われて我慢を強いられるダイエットは、かえってストレスから脳疲労を招くというものです。

ダイエットを成功させるためには、まず肥満の根本的な原因である脳疲労を解消することが大切なようです。思い当たる節のある方は参考にされると良いと思います。